

会工同窓会

会報'00

1

嶺は秀づる磐梯山

水は湛ふる猪苗代

これぞ乾坤秀霊の

精気鐘り成る處

2

明治三十七春なかば

礎堅くぎずかれて

星霜ここに幾かへり

平和の覇者を育みぬ

3

身には白虎の粹を享け

鶴を徽章に雄々しくも

至誠勤労一すじに

進む健児の意気高し

4

峙つ嶺は嶮しくも

寄せくる波は高くとも

これ奮闘の活舞臺

これぞ我等の天地なる

校歌 大正十一年制定

帽章帽帯の基本型も校友会
発足の、この年に決まる。



'99・'10・'16 我等会工健児、ここに集えり！



会工 新世紀へ

同窓会長 吉田 一栄

昨年を上回る厳しい残暑も、漸く懐かしく感じられる季節となつてまいりました。同窓会会員の皆様、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、母校は時代の熱い期待を担って、明治35年に福島県立工業学校として設立認可され、この地に開校いたしました。以来多くの困難と厳しい起伏に富んだ道もありましたがそれを乗り越え、今日の輝かしい歴史と伝統を刻み、2002年(平成14年)には創立百周年を迎えることになりました。

この長い間に、多くの優秀な人材を全国に、世界に送り出し、活躍されていることは誠に心強く思います。また、在学中の後輩達も胸が踊るような活躍を見せてくれています。例えば、一昨年に続いて夏の全国高校野球大会でベスト4と甲子園への夢を再燃させてくれた野球部、全国電動カート選手権大会で見事3位に入賞、さらに会津若松市鶴ヶ城体育館で開催されたロボット相撲東北大会で入賞し、「青竜」が全国大会へ、「元龍」が全日本大会への出場権を獲得した活躍などは記憶に新しいところであります。

2002年の創立百周年もあとわずかです。記念の事業の成功に向け、我々同窓生は今立ち上がり、奮闘しなければならぬときです。募金活

動は平成10年度から開始し、平成11年度には現職員・旧職員をはじめとして多くの同窓生の皆様にお願ひしました。今多くの方々より温かい寄付金、協賛金を頂戴しているところです。改めて深く感謝申し上げます。しかし、経済情勢の厳しい中、募金活動も明るい状況ではありません。平成12年度は同窓生はもちろん企業、地域の方々にも深いご理解を得て、ご支援をいただけるよう進めてまいりたいと思っております。同窓生の皆様も一層のご支援、ご協力をお願い致します。

同窓生にかかわる喜ばしい話題を紹介致します。昨年度機械科卒業生による組織「機友会」が結成されました。今年度は窯業・セラミック科の卒業生による組織「セラ友会」が7月15日に発足しました。創立百周年のムードが高まるきっかけになればと期待しております。

いま母校は、今世紀最後の会工祭を10月の28・29日に一般公開を含め、開催されます。どうか、後輩達の学習の成果、若さあふれるパフォーマンスをご覧に足を運んでください。

母校は、本館の外装工事終了に引き続き内部の改修工事に入っています。新世紀、創立百周年には内外ともに新しく生まれ変わります。

21世紀の新しい会津工業高校の礎を築くためにも皆様のさらなるご指導、ご支援を衷心よりお願い申し上げます。

100周年

嗚呼-我等が会工
夢多き新世紀の幕開けのとき—
記念事業への想いはひとつ、
母校の躍進を期して成功させよう。
合言葉は、2002年(平成14)!



平成12年同窓会事業報告

■創立100周年関係

▶平成11年

- 10月18日 校内出版部会
- 10月19日 業者サラトと募金の件で打ち合わせ
- 10月20日 払込承認文書送付
- 10月22日 郵便払込承認番号届く 仙第7129
- 11月11日 資金部運営委員会 企業募金の件
- 11月18日 業者サラトと募金趣意書送付の件で打ち合わせ
- 12月 1日 募金の文書発送
- 12月 8日 募金払込第1号入金
- 12月20日 税務署に趣意書等提出
- 12月27日 平成10年度異動者に趣意書等送付

▶平成12年

- 2月 7日 募金分割希望者13人へ払込用紙送付
- 2月 9日 住所不明者・趣意書等戻り分について打ち合わせ
- 2月17日 平成10年度卒生徒29人に募金依頼文書送付
- 3月24日 テレカ作成図案、委員長に承認
- 3月27日 平成11年度異動者に募金依頼書配付
- 3月31日 テレカ印刷 2000枚申し込み
- 4月 4日 新入生オリエンテーション 委員長説明
- 4月12日 募金分割希望者へ第2回払込用紙送付
- 4月19日 各地区会工会へ募金の状況連絡
- 5月17日 校内資金部会 礼状と住所調査の件
- 5月31日 第一回募金者へ礼状発送 607名
- 6月 7日 PTA役員に委嘱状送付
- 7月 7日 資金部運営委員会開催 税務署再申請の件
- 7月27日 第二回募金者へ礼状発送 47名
- 8月 9日 東邦銀行に口座開設 払込用紙印刷依頼
- 8月25日 国税局に再申請の文書提出
- 9月 4日 第三回募金者へ礼状発送 30名
- 9月 8日 国税局長より再申請承認書届く
- 9月21日 募金に関わる会議



創立100周年記念事業
テレホンカード

■同窓会関係

▶平成11年

- 10月16日 平成11年度会工同窓会総会 (サンパレス会津)
同窓会報24号発行
- 10月30日 猪苗代会工会総会 幹事長他3名出席
- 11月 5日 会工高祝賀会 幹事長他2名出席
東山グランドホテル
- 11月12日 電友会総会 梅津副会長他3名出席
- 12月 3日 福島会工会総会 幹事長他3名出席
- 12月24日 会津会工会新年会はがき発送

▶平成12年

- 1月21日 会津会工会新年会 米熊 55名出席
- 1月29日 東京会工会新年会 会長出席
- 2月 5日 同窓会入会式文書発送
- 2月26日 建友会総会 会長他3名出席 ホテル東鳳
- 2月29日 会工高同窓会入会式
会長他6名出席 348人入会
- 3月 1日 会工高卒業式 会長他6名出席
会工卒業祝賀会 会長他5名出席
ルネサンス中の島
- 3月14日 各地区会工会へ各種資料送付
- 3月27日 会工職員クラブ送別会 会長他3名出席
- 4月 6日 会工高職員クラブ歓迎会 会長他2名出席
東山グランドホテル
- 4月10日 会工高入学式 会長他3名出席
- 4月22日 昭和32工業化学科卒業生11名来校校内案内
- 5月 1日 三菱伸銅(株)新入社員歓迎会 事務局出席
- 5月20日 郡山会工会総会 吉田会長他3名出席
- 6月 1日 機友会総会 会長他3名出席 米熊
- 6月 4日 東海会工会総会 会長他3名出席
- 6月24日 東京会工会総会
吉田会長他5名出席 上野精養軒
- 6月25日 近畿会工会総会 吉田会長他3名出席
- 7月15日 「セラ友会」設立総会
- 9月26日 坂下会工会総会 吉田会長他4名出席 奈良屋
- 10月21日 平成12年度会工同窓会総会 (サンパレス会津)

さあ、カウントダウンが始まった！
2000～2001～2002
光陰矢の如し！あと二年。



地域社会の期待に応え 会工の発展・充実を ご挨拶—学校長根本健作

実りの秋たけなわの良い季節を迎えて、平成十二年度の会津工業高等学校同窓会総会が、かくも盛大に開催されますこと心よりお祝い申し上げます。
また、会員の皆様のご活躍と、日頃から本校に寄せられる暖かいご支援に対し、教職員を代表して敬意と感謝を申し上げます。

「会工健児千二十八、可能性に満ちた魅力」

四月十日の入学式には吉田同窓会長さん並びに役員の皆様のご臨席を頂き、素晴らしい素質を持った三百二十名の新入生を迎え、生徒総数千二十八名、教職員百六名の陣容で平成十二年度を力強くスタートいたしました。本校の発展を支える同窓会やPTA、意欲的な教職員、そして何よりも可能性に満ちた生徒諸君の姿は大きな魅力であります。

「ものづくり基盤技術の創造性に富む担い手」

これからの教育では、豊かな人間性、社会の変化に柔軟に対応できるたくましく生きる力、課題をよりよく解決できる能力等を育成することが望まれています。

昨年三月、議員立法により「ものづくり基盤技術振興基本法」が成立しました。今年、文部省、労働省、通産相の三省により「ものづくり基盤技術基本

計画」が策定されました。

その計画の要旨として、青少年のもののづくり基盤技術に対する関心と理解を深め、ものづくり基盤技術を支える創造性に富んだ人材の育成を図ること、また、我が国の産業を支えているものづくり基盤技術や、これを支える技術者や技能者の社会的役割の重要性を理解させ、これらを尊敬する態度の育成を図ること、工業高校においては、我が国のものづくり基盤産業の担い手となる技術者を養成するという大きな役割を担っていること等が述べられています。

「体験学習とフェスタと。着々と試みの成果」

これらの趣旨に添うべく、本校では、今後の拡大をめざした初の試みとして、建築科におけるインターシップ(現場体験学習)の実施や、ものづくりの楽しさを体得し「技術の会工」をめざしてコンテストや球技大会、ものづくりフェスタ等への積極的参加をすすめています。結果、電動カート全国大会第三位入賞、会津鶴ヶ城体育館で行われた全日本ロボット相撲東北大会で本校は上位入賞、今後、徳島で行われる高校の部全国大会及び、両国国技館で行われる全日本の部全国大会での活躍が期待されています。

「IT社会の進展に対応する施設・設備」

また、本校のこれまでのすぐれた施設・設備に加え、「平成十二年度産業教育設備整備事業」としてアップル社のパワーマック二十一台、デザインCADシステム(国庫補助予算三千六百万円)を導入することができました。また、IT革命の進展に対応するため、校内情報通信ネットワークの構築を計画するなど時代の変化に対応できる教育環境の整備につとめています。

「文武両道の精神による有為の人材育成を」

間もなく百周年を迎える本校が、今後とも、地域社会の期待に応えられるよう、すぐれた入学生の実保、文武両道の精神による学力の向上と資格取得、及び各部の活躍、就職及び大学進学など進路希望の実現等を通して、有為の人材育成を図り、二十一世紀に向けた会工の発展・充実に取り組んで参りたいと存じます。

会員の皆様には、今後とも暖かいご支援やご指導を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶と致します。

盛大な総会、誠にありがとうございます。

同窓一万

いつも
明日がある。

東京会工会 副会長板橋 桂
(S25T卒)

東京会工会九十周年総会が六月二十四日(土) 上野精養軒で、約百名のご出席をいただきまして、和気あいあい、賑やかに、会津磐梯山を太鼓音頭で舞輪のフィナーレで、無事閉会致しました。

関係各位のご協力とご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。

ちよつと舞台裏の一つを紹介させていただきますと、上野精養軒の大広間でパーティーを開催するのは、百名程度の人数、不足がちな予算・人手では、なかなか難しいものがあり、一般的には先ず無理といったところでしようが、可能なカギの一つに、精養軒に關係する会工会員がおりまして、かゆいところに

「若松会工会の
発展を」

会長 梅津正夫
(昭26E卒)

連携を密に！
五割増の総会。

東海会工会 幹事長 皆川克久

長期不況から回復基調のデータに反転したと報じられる様になった今日ですが、日本最大の物作り拠点といわれる東海地域ですが、いまだかんばしい状況にないのが実感です。また予想もしない、ある日突然の自然災害(西枇杷島町水害では同窓会員の中にも被害を受けた者あり)とまったく明るい事の少ない近況です。

さて、地域同窓会の近況ですが元氣の出ない環境下で、同窓会は永続活動を運命づけられている組織、運営の基本は『同窓の友の交流の確保実現の場であるが、成果を求める場でない、しかし、マンネリ化現象を作らず常に前向な場を保持してこそ目的を達成出来る組織』なのかなと考えると、どの地域でも、まずは行事に一人でも多くの会員の参加をいただくことが最大の宿題かと思われるが、ややもすると一部役員の義務感でもちこたえているのが実状ではないでしょうか。

マンネリ化から脱却するために、東海では会長の提案で、組織をあずか

手が届く様な、ご案内・ご協力をいただいているからです。

九十年の年輪「語らずに」はたらいっていることでしょうか。

東京会工会九十周年記念号の発刊にあたり、八十周年と九十年の間の十年間に、大きな時のへだたりを覚えしました。

社会全体が大きな変動に戸惑い、経済的な変動は企業の経営改革期にもあたるとののでしょうか、企業からの大口の協賛広告が期待できなくなってきました。支出名目に似合った効果が期待できるものでなければならぬと言ふことでしょうか。それは経済景況の量的な変動でなく、質的な変化と解釈しました。

九十年続いてきた日本的な「勸進興行」的な収入に期待してはならないと言ふことも知れません。

東京会工会の運営も同様になることでしょうか。

今夏の甲子園を目指す会工健児には心踊る思いがありました。地域におけるOB・知人の応援に駆けつける姿はさながらの様相で外界の暑さも何のそのという感じでした。再度のベスト4という健闘をぜひとも来期につなげ、近い将来には甲子園で古

今後の機関誌としてのあり方は、機関の広報活動に、同人雜誌的な方法を組み込む模索活動をしなから、読者が関心を持てるようにする必要を特別に感じました。

会長挨拶と会務報告だけに頼るだけでは「ダメ」です。

母校会津工業高等学校同窓会におかれましては、平成十四年の百周年記念行事にむかつて、全組織をあげて営々とご努力の様子を伺い、誠に慶祝に存じます。

東京会工会の会合の都度、いろいろと話題があり話が尽きません。

参加方法をまとめてみたらどうかとか、「パット一丁あげよう」といった盛上った声も聞かれて、非常に楽しみにしております。

東京会工会は十年先の百周年に向つて、会のあり方、運営方

代紫の校旗を翻してほしいと強く願っています。野球部に限らず本年度も現役生の諸活動にわたる、会工健児の意気高し“の活躍は百周年を真近に迎える母校の更なる発展への光であり、OB共々に一体となった前進を期したいものです。

法をどのようにすべきかを模索思案中です。

いろいろな具体的議題の中から共通の悩みをあげますと、「東京会工会」という組織で活動しているのですが、会を構成している会員とは何にか、会員の義務と権利は何にか、会員の加入要件は何にかといったものが曖昧で、それで議決執行していることです。

組織として基本的なあり方を見直す必要があるとして、会工を卒業して東京近辺に住んでいる人が全て東京会工会員でなく、会に入会する資格要件を持つている人であつて、参加の意志表示した会員で、東京会工会を構成すべく、事務局から提案があり、審議中です。

余談になりますが、どこの会工同窓会も似たようなものと思

さて、社会は景気向上の気配は感じられるものの実態はつかめず、間もなく百日足らずで二十一世紀を迎える今日、あらゆる方面で生き残りをかけた新たな発想の転換に挑戦している状況であります。各方面でご苦労されるOB諸氏のご健闘とご活

会工の諸兄におきましては何卒物心両面にわたるお力をおかし下さいます。百周年事業を母校とOBの新たなスタートとして

この一年余り、会長、事務局長が病氣のため休務となり会の運営にかかわる負担が重なり、関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお許し下さい。

初の一泊旅行で親睦会。

近畿会工会 会長大島武二

この一年余り、会長、事務局長が病氣のため休務となり会の運営にかかわる負担が重なり、関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお許し下さい。

▼近畿会工会役員

名誉会長	若林精二郎
会長	大島 武二
副会長	上林 孝之
〃	斎藤 力
〃	渡部 藤雄
会計監査	長谷川雅之
〃	荒井 栄吉
〃	大竹 文夫
事務局長	近藤 芳弘
〃	秋山 善彦
〃	安達 隆
〃	信野 昭
〃	弓田 洋
〃	遠藤 進朗



鶴雲雄飛

電友会

歴史の深い街に
生まれて感謝

会長 眞田賢祐
(昭26E卒)

電気科が生まれて五六周年を迎え、第五回の総会も吉田同窓会長、郡司学校長をお迎えして盛大裏に終了しました。新旧の企業戦士と精気溢れる面々の集まりは莊嚴にして貴賓の高いものでした。新たなしい会員増強対策等が満場一致で承認され大きな期待が膨らみます。

母校百周年記念事業も正念場を迎えて一番苦しい所ですが諸般の事情を乗り越えてご支援お願いします。

昨今、歴史に接する機会がありまして、天正十七年六月五日伊達正宗による摺上げ原の戦い、慶応四年九月二十二日の戊辰戦争で会津全域地方の神社仏閣が焼失、破壊された事は先代を忍ぶ事が出来ないのは残念です。前段は豊臣秀吉による私闘の違反であり後段は西軍側の怨念の闘いでした。斗南藩に移封した三千十軒の苦しい憂き目は想像を絶する物がありました。

平成十二年度の総会は来る九月二十六日(火)開催されました。私共の最大の行事は創立百周年記念として、平成十三年四月十五日、成田発でサイパン島に松江春次氏の孫、佐伯康次様(現ホテルニッコ)の案内で松江氏の銅像を訪ねるツアーを成功させる事です。松江氏の高德を偲び足蹟を訪ね後世へ語り継いで行きたいと思ひます。同窓生の皆さん(特に機械科)多数の参加を期待してまふ。八月三十一

質実剛健

闘い思想と日新館長期の教えが災いして会津藩の「花ならば散るが覚悟雪ならば消えるが覚悟」が政争となったわけだ。

斗南での二年間の慣れない重労働による開拓は希望が少なく、生活の困難との闘いで壮絶な記録があります。逆のぼり延宝二年六月十日(慶応三年頃(一六七三・一八六八)浦生氏、氏郷公が郭内本一ノ丁甲賀町通りの学門

所を創設して「孔子」の教えた教育方針は百九十五年も続き斗南藩の苦しい活動も日新館の教えの「質実剛健」の精神が力となり耐え抜きたと想像します。更には明治時代の武道の指導、文代活動、万民への教育の推進の状況を考察しますと、旧会津藩の末裔が各層のリーダーとしての存在で証明できます。

会津地方より九名の大員が誕生

日(本)坂下五校会「会高、若商、坂高、会農、会工」のOBゴルフコンペで団体、個人、共吾が会工が優勝しました。坂下同窓生より二十四年ぶりで町議五十嵐一夫氏が当選しました。会工健児の活躍を期待します。

一緒にしませんか！
「松江春次翁を訪ねる会」
平成13年(明春)
4月15日発
サイパン島。

★締切りは今年12月20日。

★詳細は坂下会工会までお問い合わせください。



DEPENDENT & MESSAGING

「建築業態から生まれた会津民謡」

建友会幹事五十嵐時雄
(第七回卒)

会津は民謡の宝庫として山に囲まれ独特の文化に育まれて来ました。

遠い祖先より唄い継がれて来た、多くの民謡民俗芸能があります。民謡は日本人の心のふる里と云われています。

建築関係より生まれた民謡は昭和三十一年頃まで作業の中で唄われていた「心矢胸突唄」が最後ではないかと思われまふ。基礎を造る際にヤガラを組み、滑車を取り付け、ヤガラの中心部に心矢棒(太さ約一尺の丸太で長さ十尺の樫木)を設置し中程に八本位の上下作動のための引き綱をつけ、唄い手引き手が唄うと、掛声でヤガラ上の心矢持ちの唄の音頭と胸突棒の繰りに合わせて作業を進めていた。唄い手引き手の方は大半が女性でした。

その文句(歌詞)には

ここは大事な大黒柱
(ヨーイコランダコラヤデ
ヨイシヨハアヨイシヨ)
頼みまぞえ皆様に
(以下掛声同じ)

猪苗代会工

会長 寺崎敏鳳

猪苗代会工会の総会はこのほど、猪苗代町の旅館「新生」で開かれ、会員十六人が出席した。

この家旦那のお名前なんと、裏に七つの蔵の助ヨ

この他にも玄如節会津磐梯山の歌詞等が唄われ、また即興で卓狼な文句も唄われていた。

しかし、この年代頃より作業も機械化され自然と消えて行つた。この他にも建設にちなんだ会津石切唄、会津木挽唄、からむし織りの里、として昭和村に伝わる、橋のナガラ唄や、大黒柱にする為の木材を山から伐り出し里に運び出す山仕事唄で大もつ引き木遣り唄等があります。現在では作業に合わせて民謡を歌うことはありませんが、建築の祝事には会津目度(めでた)からはじまり建築にちなんだ業態の唄等が歌われ宴会を盛り上げられています。

今年七月恒例の第三十三回会

本年度の事業計画として平成十四年の創立百周年記念事業への協力や同窓会への参加、新会員の勧誘などを決めた。また、会長に寺崎敏鳳さんを再任した。同会は猪苗代町在住・在勤の会津工高卒業生で組織されており、会員は七十四人。

▼ほかの役員は次の通り。

副会長 渡部進 佐藤保

津民謡研究会民謡舞大会は会津若松市の後援を得て會津風雅堂に於いて開催いたしました。特別コーナーでは唄と踊りでつづる全国民謡の旅を企画し、謡う人も聞く人も心に染みる様な感銘と夢を与える感動の発表会を目標にイベント致しました。吾々建築業で民謡を愛好する者には、「謙良節」に見られる大工さんの作業の音や立派な座敷の様々あるは、「俵積唄」に出てくる様な屋敷の広大さ倉の数々を持つている旦那様の姿を想い浮かべながら謡う曲もありまふ。

建友会の皆様には今後とも御指導支援を戴きながら、民謡を通じてなんらかの形で観光会津と建設につながる様、企画構成し精進していききたいと思ひます。

『平成十二年度文化栄誉賞』受賞

(社)日展会友
折笠光助さんを紹介

郡山会工会事務局 金田 寛

郡山会工会も毎年の行事は盛大に行っているが、特別記事にする情報も少ないので、今活躍し新聞などで賑わっている、折笠光助さんの業跡・活動内容を紹介いたします。

▽折笠 光助 会津工業学校

漆工科を昭和三十三年卒業。

昭和十五年会津若松市に生まれる。現住所は郡山市安積町

笹川字北向六の三

▽父は会津若松市で詩絵師

▽主な役職(位)

・日展会友

・日本新工芸家連盟評議員・審査員

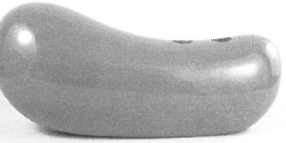
・日本新工芸家連盟東北会

副会長
・河北工芸展招待
・福島県総合美術展招待審査員
・福島県美術家連盟評議員
・郡山市文化団体連絡協議会
常任理事
平成十二年度文化栄誉賞受賞
・独立工房
昭和四十七年郡山に工房設立
木芯乾漆・脱乾漆を制作
・県・市の各種工芸教室・クラブの講師として活躍

▽主な展覧会の出品
・郡山市総合美術展
・郡山美術連盟展
・福島県総合美術展
・東北工芸展
・日本新工芸東北会展
・日本新工芸展
・日展

・明日をひらく日本新工芸展と数多くの賞と制作意欲には本当に敬服いたします。

これからの願望をお聞きしたら、「完成は出来ないが継続して制作し、いつも原点を見つめ



芸術性の高い新しいものをつくっていきたい。努力あるものです」
今後ますます活躍されることを祈ります。

文武両道

至誠勤労

セラ友会 祝設立

同窓会の皆様におかれましては益々御清栄のことと御慶び申し上げます。また、7月15日の「セラ友会」設立総会には多くの皆様方御臨席を賜り誠にありがとうございました。



さて「セラ友会」の設立につきましては、昭33寮業科卒業の、坂内茂男氏を代表とし、セラミツ科の職員並びに設立に御賛同いただきました役員の方々と共に、昨年6月から今年の7月まで数回にわたり総会に向けて準備いたしました。その間、同窓会会長吉田一栄様の御出席をいただきながら慎重に審議いたしました。特に「鶴寮会」「セラ寮会」「セラ友会」の案を提示し、総会で「セラ友会」に決定いたしました。また、セラ友会役員につきましては、準備会のメンバーと第2回の総会までに県内および県外を含めて組織の拡大を諮るつもりであります。

「セラ友会」総会には、来賓として
 校長 根本 健作先生
 教頭 佐藤 輝夫先生

半世紀後の再入学

電気科二期生(昭和27卒)

会津若松市政百周年の記念行事に合わせ、同級会の開催を会津に計画し、卒業以来50年ぶりに母校を訪問した。
 我々同級生は、戦後の混乱期に在籍し、会津工業学校電気通信科へ入学した後に、学制改革

ついで、校内の案内をいただきながら実習室では、皆んなの顔がほころび童顔に戻り、黒塗りの配電盤・モーター・メーターなど、古い機械に眼が止まり、話題がはずみ、機械の側でナデル・サワルで……懐かしさに浸った。
 また、校舎・教室・コンピュータ設備など、我々の当時のものは、すっかり一変し、時代の大きな流れを味わった。
 引き続き、同窓会事務局より、創立百周年記念事業計画の説明をうけ、この度完成したばかりの、CD「校歌」を聞きながら、母校の発展と記念事業への協力を約して母校を後にした。



副会長 渡辺 幸市 (K26卒)
 理事 佐藤 悦郎 (K32卒)
 幹事 坂場 恒雄 (K34卒)
 幹事 佐藤 松夫 (K33卒)
 幹事 島影 孝敬 (K29卒)
 幹事 二瓶 正人 (K37卒)
 幹事 渡部 洋千 (K32卒)
 幹事 長谷川利彦 (K41卒)
 幹事 関場 一宏 (K33卒)
 幹事 若狭 春生 (K38卒)
 幹事 佐藤 正道 (C59卒)
 幹事 梨子本 傑 (K41卒)
 幹事 稲本 可文 (K44卒)
 幹事 村田 光夫

REPORT & MESSAGE

30Cクラス会

平成11年10月3日
 東山温泉 松島閣 滝の湯
 ◎会津若松駅にて
 会工時代の微かな面影を求めて、誰々君、いや俺は誰々だ「オッオッ元氣」44年振りに再開に握手・握手。

◎会工にて
 学校前の広場は舗装され西側の学校で工事中であったが、ほぼ元の広さであった。在学中の校舎は全部取壊されており、新しい校舎が建てられ、何となく寂しい。校長代理・化学工学科長が学校の近況を話して戴き化学工学科の校舎を案内して戴く。

校歌…応援歌のCDを購入する。
 ◎滝の湯にて
 校歌斉唱……ところどころで忘れていた。
 黙 祷…学生時代の一人一人を思い出したら、冥福を祈る、ここに居ないのが残念
 応援歌…これも又校歌同様と

ころどころ忘れてる。B調は、敗戦歌の思いが強く歌われず。懇 談…下駄履き禁止の校則にクラス全員が最後まで頑張った話など、16、7歳の昔に

幹事 五十嵐知雄

福島会工会決起集会！ 「100周年雑感」

会長 星 武 (昭27E卒)

母校の創立一〇〇周年を迎えるに当たり、福島会工でも決起集会なるものをもって意識高揚を図ろうと昨年12月、市内及び近隣在住者約一〇〇名に声をかけ

出席者は30名で打率3割、都合により「欠席」の返事を下さった方が60名、転居先不明で戻ってきた返信はがきもありましたが、回収率9割に会工生の生真面目さを見る思いがしました。
 今回返事を頂いた方の最長老は91歳の馬場春雄さんで直筆のはがきを頂きました。その他、同窓会の動きなどがまったく分からないという貴重な意見があり、諸先輩方々全員とはいきませんでしたが、本部事務局の先生に、余分にご持参いただいた会報を郵送し、早速何人かの方から丁寧な礼状や電話を頂きました。とかく第一線を離れると、年を経る毎にそういう機会からも離れていくのかなと思ひ、一〇〇周年の機会にこれらの大先輩の方々への情報提供の手だてを福島なりに考えてみたいと思いました。

(文責 幹事 星 秀明40E)



32Cクラス会

先日は母校訪問に際しまして、お手数を煩わし大変お世話になりました。私は昭和三十三年卒業以来の訪問でしたが、すばらしい環境に整備された母校を見て感激いたしました。
 工業化学が我が国をここまで発展させた原動力であったことは論をまたないことであり、一方では地球環境の汚染も指摘されていますが、今後も環境負荷を軽減させる為にも益々重要な学問であると信じております。
 次世代を担う若い技術者の育成は重要であります。百周年記念事業共々益々のご尽力を賜りたくお願いいたします。

*訪問者

遠藤 泰男 五十嵐知雄
 石井 広道 佐藤 博道
 斎藤 宣雄 佐賀 賢二
 佐藤 清 鈴木 八郎
 橋 和英 坂内 誠
 深田 成一 渡部 庄八
 *会合のみ
 小池 常雄 高倉 登
 高橋 重

創立百年

学窓追憶

2002年・創立百周年記念事業を 成功させよう——公募による校内標語

創立百周年記念事業について 教頭 渡辺 秀雄

会津工業高等学校同窓会の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。同窓会員の皆様には日ごろより、母校に対する熱い思いと期待を寄せていただき感謝しております。

また母校に対し物心両面にわたり多大なるご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げますとともに、敬意を表します。

創立百周年記念事業実施まであとわずかとなり実行委員会も各部長さんを中心に活発な活動を展開しております。

特に出版部会・資金部会は事前の仕事前のため精力的な活動を展開しております。これらの活動に際しても多くの同窓生が積極的に協力いただき感謝しております。

百周年記念事業について、各地区会工会においても話題の中心になってきております。このように同窓会関係・学校・生徒・地域（保護者も含む）社会が一丸となって会津工業高等学校百年の歴史の重みと、これからの会津工業高等学校のあり方を考えていく節目としていきたいと考えております。

この素晴らしい節目のときをすべての同窓生と在校生・全職員で味わっていければと考えております。つきましては、仕事等で住所が変更になり連絡が取れない状況を無くして全同窓生が同じ心で取り組んでいくために、住所変更のご連絡等をお願いするとともに同級生・知人で住所等がわかりましたらお知らせいただければ幸いです。

創立百周年記念事業実行委員会も吉田一栄同窓会長を実行委員長とし、平成十一年度より立ち上げ、一歩一歩着実に前進しております。今後も2002年の記念事業の成功を願う学校全体としても、全力をあげて努力をしてまいりますので同窓生の皆様におかれましても更なるご協力をお願い致します。

終わりに、同窓生の益々のご活躍・ご発展を祈念して報告といたします。

スタッフ

校長 根本健作	内藤陸朗	佐藤良子
教頭 佐藤輝夫	伊藤 健	清水裕智
教頭 渡辺秀雄	梅宮昭雄	佐藤貴裕
斉藤四志男	白岩 格	額田憲一
十二所宗紀	五十嵐進	山崎尚一
鈴木長九郎	平山賢美	戸井田睦美
金子健一	大塚久泰	
三原敏男	鳴瀬 良	
浅和勝利	白井まや	
佐藤春樹	風間眞一	
山口栄一	山口芳彦	
青井 勝	六澤良行	
片平喜美代	菊地寿雄	
高橋利雄	中野善司	
根本一雄	益子 茂	
東條 憲	高久礼子	
山田忠明	渡部 哲	
笠井英雄	茂木利幸	
古畑一男	渡部鉄仁	
渡部泰明	富樫 実	
馬場勇作	渡部 亮	
本田 毅	村田光夫	
酒井克彦	加藤義勝	
岩松 俊	松本靖弘	
佐竹勝行	菅家慶広	
小熊常輝	渡井祥雄	
	佐藤正道	
	栗城一郎	
	白川克明	
	海老沢康広	
		高橋弘光
		山寺清司
		黒澤静子
		鈴木 哲
		本田直子
		佐野正司
		加藤芳宏
		星野恭代
		谷田部俊幸
		菅野久美子
		本田朋亮
		緑川 誠
		鈴木亜希
		赤城礼子
		五十嵐徳昌
		猪俣昭衛
		佐遠信仁
		谷井かほる
		岩田善一
		菅原健治
		吉川久雄
		梨子本傑
		小荒井幾雄
		稲本可文
		湯田二三子
		本田文一
		前田宣裕
		渡部 巧
		岩淵浩之
		栗田克志

REPORT&MESSAGE

主任等

▼第一学年 白井まや ▼第二学年 富樫 実 ▼第三学年 五十嵐進
▼インテリア科 穴澤良行 ▼セラミック科 伊藤 健 ▼化学工学科 古畑一男 ▼機械科 十二所宗紀
▼電気科 根本一雄 ▼電子科 小熊常輝 ▼情報技術科 東條 憲 ▼建築科 内藤陸朗
▼総務部 山田忠明 ▼教務部 菊池寿雄 ▼生徒指導部 風間眞一 ▼進路指導部 本田 毅 ▼保健部 馬場勇作 ▼図書部 三原敏男
▼施設部 高橋利雄 ▼視聴覚部 梅宮昭雄 ▼情報処理部 東條 憲

◎創立／明治三十五年

◎クラス数／二六

◎生徒数／一〇二八

◎教職員数／一〇八

◎同窓会員数／二二四二二

激減する県外求人！後輩の前途にび支援を。

変化の激しい進路環境

進路指導主事

本田 毅

同窓会の皆様には、本校生の就職につきましても何かとお世話を頂きまして、厚く御礼を申し上げます。

以下に、本校生の最近の進路状況をお知らせし、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

■

1. 平成11年度の進路状況
「超氷河期」と言われた昨年度の厳しい雇用環境の中にあつて、本校の場合も県外からの求人数数が前年度より約110社減少し、大変な苦戦を強いられた年でありました。しかし、進路指導部を中心として、危機感をもって進路開拓をすすめましたところ、おかげさまで県内・地元から

の求人数が前年度より数十件増加しました。これは、ひとえに多くのOBの皆様と地元企業からのご協力を頂きました賜物で、深く感謝を申し上げます。

結果として、県内・地元就職者数が県外就職者数を上回って従前の傾向が逆転したことは、昨年度の就職活動の特徴的なできごとでした。また進学関係では、特に4年制の大学合格者が増えて、前年度の40名の約5割増である59名が進学しました。

高校で学んだ専門的な知識と技術をベースとして更に大学での勉学を深めることは、最近の複雑で高度化している技術社会から求められていることです。

将来のために確固たる基礎を若い時期に築くことは大変大切なことで、大きな夢と希望を実現するためにも、今後とも大学進学の希望者の増加が期待されます。

《表1》
□就職……………一七二

県内……………一〇三
県外……………五九
公務員……………五
自営・家事……………五

□進学……………一五六
大学……………五九
短大……………五
専門……………九二

□進路未定……………一七
（但し、進路未定者は、大学浪人三名を含む）

2. 今年度の求人・求職の状況
現在のところ、昨年度と同様の厳しい状況にあり、生徒の就職活動が必ずしも思うように進んでおりません。

しかし、今年は地元の富士通会津若松工場と富士通AMDから合わせて約1500名の高校生求人があり、本校からも多数受験し合計44名が合格しています。この他、三菱伸銅に7名が合格するなど、地

元就職の希望者にとっては恵まれた年になっております。次に、今年度の求人企業数（10月7日現在）と本校の就職希望者数を示します。

《表2》
□県外…求人企業…二六二
希望者……………五八

□県内…求人企業…一一五
☆会津……………八九
☆その他……………二六
希望者……………一九

□合計…求人企業…三三七
希望者……………一七七

（但し、希望者数は9月上旬調査のもので、公務員希望者数を含まない）

今年の本校に対する求人の特徴は、以下の通りです。
（一）県外からの求人数は依然として減少する一方であり、県外希望者にとっては一層厳しくなっている。

（二）逆に県内・地元からの求人数は昨年来より増加傾向に転じている。

（三）厳しい雇用環境の中にあって、好況にある地元半導体企業からの例年になく多くの求人は、本校の就職希望者にとって大きな恵みとなっている。

（四）全体の総求人数は、昨年度とほぼ同数である。求人確保と早期就職促進などの対策

昨年度と同様の厳しい年になるであろうという予測が年度当初から報道されたこともあり、本校でも県内外の求人の開拓のために一学期から企業訪問などを積極的に実施しています。

生徒達の早い時期からの進路意識の高揚と具体的な準備のために、今年度は新たに建築科においてインターンシップ（在学中の就業体験）を実施致しました。地元企業の皆様には多大のご協力を頂きまして大変ありがとうございました。

した。生徒達の真剣な取り組みによって、就業体験が大変効果的なものであることを我々も認識を新たにしております。次年度は、更に複数の学科での実施を検討しているところであります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

4. 今年の就職内定状況
現在ちょうど就職試験の結果通知書が次々と届いている時期になっており、次のような状況になっています。

《表3》
□合格者……………一二七名
□不合格者……………三八名
□合格率……………約七七%

昨年度と比較して合格率がかなりアップしており、大変喜んでいるところです。しかし、2次以降の状況には昨年度同様の厳しさがありますので、同窓会の皆様にも一層のご配慮、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション——1 専門過程は、いま。

In インテリア科

■主任 穴澤 良行

山口栄一、風間真一、黒澤静子（2年担任、岩瀬浩之、額田憲一、穴澤良行の工業科と、本田朋亮（数学・1年担任）五十嵐進（国語・3年担任）の計8名で今年度担当しています。今年の目玉は何と言ってもアップルコンピュータ「パワーマックG-4」の21台導入で、それらがLAN機能を備え（教師と生徒をつなぐネットワークシステム）、『情報造形ステーション』といったかたちで12月頃に出来上がることでしよう。

本科のモットーとしては、三次元にものを造り上げることで、コンピュータの導入により、さらに身近なデザインワークが可能となったといえます。これら、施設、設備導入に際して尽力していただいた、県ならびに関係各位に、この場を借りまして御礼申し上げると共に、生徒と一緒により良い作品を造り出す決意です。今後共宜しくお願

い申し上げます。今年も求人状況は厳しく、住宅・インテリア関連はそれにも増して……といったところ。そういうこともあり、昨年度の進学者数は卒業生36名中21名で、中でも専門学校インテリア、デザイン、コンピュータグラフィック系への進学が増加しています。もう少し、明確な関連企業が沢山あれば……とも思うのですが、なかなかそうもいかないのが実態です。

ものづくりを通して、完成の喜び、そしてむずかしさを体感させ、先端技術の導入も含め、創造性を培い、ものづくりの楽しさを実感させて行きたいと思っています。また今年は、三年に一度の会工祭もございまして、ご高覧いただき、後輩によきアドバイス等もいただければ幸いです。

F セラミック科

■主任 伊藤 健

同窓生の皆様におかれましては益々御清栄のことと御慶び申し上げます。平成14年には創立百周年を

迎えます。本当にと心から祝いたいと思います。この創立百周年には大変、大きな記念事業を計画されております。皆様方にも陰に陽に多大の御協賛・御協力を、お願いすることになると思ひますのでその節は、積極的な御尽力をご期待申し上げます。今年度、セラミック科として同慶の至りと歡喜したい組織が誕生しました。この創立百周年に焦点を合わせたように、平成12年7月15日に「セラ友会」として組織が結成されたのです。説明を要すまでもなく会津工業高校 窯業科（旧科名）セラミック科卒業生・親睦会の誕生です。

せん。このセラ友会が会津工業高校のために、貢献できることを確信して……。セラ友会の更なる発展を期待したいと思ひます。平成12年には本館四階建て大規模改修工事が行われております。工事が終了しますと新校舎のように生まれ変わるでしょう。進路関係ですが、大学、専門学校に進学する生徒が増えています。大学進学は理解できるのですが、目的意識が不明確で安易に専門学校を希望する生徒の気持ちの理解できません。

C 化学工学科

■主任 古畑 一男

同窓生の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、化学工学科においては、1学年担任白井まや先生（国語・1学年主任）のもと40名2学年は担任加藤芳宏先生（化学工学）で40名、3学年担任栗城一郎先生（理科・野球部監督）と38名の総勢118名で、毎日学校生活を送っています。科関係職員の移動はありませんでしたが、この度の



校内人事で、不肖私が科主任の大役を受けました。前主任の鈴木長九郎先生は百周年実行委員長として、成功に向けて連日忙しがらばつておられます。科関係職員としてさらに、山田忠明・五十嵐徳昌・猪俣昭衛・湯田三子各先生と、総勢9名で科の目標達成に努力しています。平成11年度の進路状況については次の通りです。就職…地元会津16名、県内1名、県外5名、公務員（自衛隊）1名、家業2名。ヨークベニマル・オルティック・日曹金属化学・工建工事・富士通AMD・不二コントロールズ・小田島・イワタエンジニアリング・佐藤燃料・大川荘・東北産業・会津中央病院・縁故4名。T&K TOKA・タツノ化学・JSR・縁故2名。進学…四大7名、短大1名、専門学校6名。日大工学部2名・いわき明星大・明星大・湘南工科大・昭和音楽大・関東学院大・新潟工業短大。

厳しい就職状況が続いていますが、特に県外企業は学力的にも、人物的にも競争が激しく難関です。四大合格7名はまれにみるがさんばりの成果だったと思います。これから進路実現に向け指導を徹底して、目標に向かいがんばる力をつけさせたいと思います。資格取得については、在学中から積極的に挑戦し、卒業後の仕事にも生かして欲しいと思います。化学工学科の一端をご報告申し上げますとともに、今後とも皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

M 機械科

■主任 十二所 宗紀

本年も、女子生徒が2名入学し、2年生と合わせて、計4名になりました。生徒会役員、研修部でカーットの製作など、各々自由に、積極的に学園生活を送っています。機械科の雰囲気も、なごやかで明るくなってきたと思います。

E 電気科

■主任 根本 一雄

＊指導者 茂木………1台 生徒5名 ＊指導者 板橋………1台 ＊結果 惜敗し全国大会出場ならず ② 全国電動カートコンテスト 高校選手権大会 3位と7位 ＊指導者 平山・栗田・高橋 ＊1台出場 ③ 省エネカー全国大会 ＊指導者 栗田・高橋・平山 相撲ロボット東北大会 ＊指導者 平山 6台参加 ④ 1台が高校の部で3位で 全国大会（徳島）出場 ① 1台が一般の部で3位で 全国大会（東京）出場 以上総数11台のマシンが大活躍しましたが、現在も研修部が大勢活躍中なので、来年度も新入生を含めて、大いに期待できると思います。

時代に入っておりますので、昔日の電気科よりは、生徒の気質も、大部ちがっております。しかるに、昨年は、毎年3学期に行われる、全国標準テスト電気基礎において、2年生が平均86点で、全国順位5～6位の素晴らしい成果をあげました。また、そのせいか、今年の3年生は、資格試験にも熱心で、電検三種試験に7名ほど受験したのは、結果のいかにかわらず、生徒の実力向上にとって良いことだと思ひます。総じて、今年度は、1～3年生まで欠席も少なく、落ちついた雰囲気の中で、学習をしています。施設面では、本館東側の内装工事のため、電気科、電子科棟の実習室を2学期より、3教室ほど、普通教室として使用しています。また、12年度からの電子科の募集停止により、電子科の先生が2人減となり、電気科から電子科の授業へのお手伝いをしていきます。

D 電子科

■主任 小熊 常輝

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常日頃ご支援をいただきた大変心強く思っております。さて、昨今「IT」という言葉をよく耳にします。まさに、電子・通信・情報技術関係の産業が著しく発展を続けているところであります。そういう社会情勢の中で本年度は電子科が廃止され電子科の新入生がいなというさびしいスタートになり生徒・科職員も大変気を落としているところでも本当に残念でなりません。設備関係では今年度は購入の予定は今のところないようです。資格取得関係では文部省認定ラジオ・音響技能検定試験二級に3年電子科の生徒3名が合格しました。大会関係では第12回全日本ロボット相撲大会が9月17日（日）鶴ヶ城体育館で実施され、梅宮先生指導のもとに3年電子科の生徒四名が参加しました。進路関係では就職希望19人・公務員希望2人・大学進学希望6人・専門学校進学希望13人となり、就職試験は9月16日（土）より解禁になりました。よい結果が出ることをおおいに期待しているところであります。最後にになりましたが今後ともより一層のご協力・ご支援

J 情報技術科

■主任 東條 憲

同窓生の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。インターネットの出現は、私たちの日常生活までも一変させる二十世紀最大の情報通信革命であるといえます。地球上のあらゆる人々が自由に瞬時にコミュニケーションができ、さらにパソコンの前に座るだけであらゆる情報を得ることができるようになりました。「打出の小槌」であります。生徒のインターネット利用もさまざまで、放課後のプログラミング実習室は、課題研究に取組む生徒、自分のホームページを作成する生徒、プログラミング実習をする生徒、第二種情報処理技術者試験の受験勉強をする生徒等で常に空きパソコンがない状態です。本校のホームページは、本田毅先生が作成管理していますが、カラフルでコンテンツも多く、学校の現況が手に取るようにわかると思います。特に、ホームページ内の電子掲示板には、同窓生の方々からもメッセージをいただき、在校生や職員との交流の場として活用されておるようです。▽ホームページアドレス http://www.asakane.jp/~ai-tech/▽メールアドレス

attach@asakane.jp 年度末人事異動で梅宮昭雄先生が本校電子科へ、北林誠一郎先生が福島工業高校へ転出され、埼玉工業高校より鈴木哲先生、清陵情報高校より本田文一先生をお迎えしました。今年のロボット相撲東北ブロック大会は、本校を事務局校として、9月17日（日）鶴ヶ城体育館で開催され、本科から自立型、ラジコン型それぞれ一台ずつ参加し、本科もむなしく惜敗しましたが、指導された本田文一先生、参加した生徒諸君には夏期休業を返上し、ソフト、ハードの製作誠にご苦労様でした。「物作り」への真摯な姿に敬服するばかりです。12月には、人工知能ロボット「カーラーコンテスト」が予定されており、鈴木哲先生指導のもと、全国大会進出を目指し製作奮闘中です。景気好転が報じられてはいるが、高校生への求人環境は、史上最悪で、9月末現在、就職希望者17名中公務員一次合格も含め9名内定という厳しい状況にあります。大学進学希望者10名、専門学校への進学希望者14名です。昨年の大学合格者は、新潟大1名、会津大2名、山形大2名、私立大5名と好調でした。昨年の国体に福地健太郎君（いわき明星大に進学）が弓道競技に出し優勝し、団体戦で強豪愛知を下し優勝しました。今年も長谷川卓君（本科三年生）がバレーボール競技で富山国体に出場します。福島県チームと長谷川君の健闘を祈りたいと思います。

今後は文武ともにバランスのとれた人材育成に努めていきたいと思っておりますので、同窓生各位のご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。

A

建築科

■主任 内藤陸朗

内藤陸朗、渡部鉄仁、富樫実、菅家慶広、菅原健治、高橋弘光の建築科6名と、佐野正司(数学・3年担任)とのメンバーで今年度担当しております。

23名でした。そのうち四年制大学へは、国立の新潟大をはじめとして14名の進学です。喜ばしいことなのかどうか複雑な気持ちです。

桑原忠義さん、他にもクラス役員として懐かしい顔ぶれが活躍しておます。母校への愛着がこういう形で出て来るものだなあと感慨深いものがあります。

今年度、はじめて2年生が「インターンシップ」(現場体験学習)を夏休み実施しました。地元7企業にお世話になり、20名が現場で3日間研修しました。更に12名が設計事務所、4名が大工さんにお世話になりました。そのすべての中で本校の大先輩方に面倒を見て頂きました。生徒にとつて一番の感動は、「自分たちの先輩が、あのように立派に活躍している」と確認したことでした。また、より以上に感謝しているのは、古参教師の私でした。

今年度は進学者が38名中、現本部役員の菅原正晴さん、頼もしさについて述べたいと思います。

奮るえや会工の健男児

応援歌から

学び舎 ロケーション——2 クラブ活動は、いま。

生徒会

顧問◎高久 礼子
渡部 亮
馬場 勇作
会長 室井 貴行

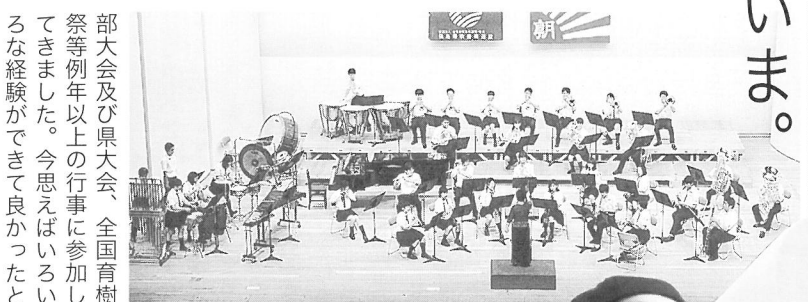
今年度の生徒会の行事について簡単に説明致します。まず春の生徒会総会についてですが、今年は例年になく大勢の生徒の皆さんから貴重な意見をいただきました。これらの意見は今後の生徒会総務を運営していく上で充分に活かしていきたいと思っております。

たとともに、心配されていたケガも無く、無事に終了することができました。その他に、生徒会会報の発行があります。幅広く会工生の活躍の様子取材し、なるべく早く生徒の皆さんにお知らせするよう努力しています。今年度は3年に一度の会工祭の年に当たります。しかしながら本館東側の改装工事により、準備や内容についてさまざまな影響が懸念されていますが、このような障害を乗り越えてこそやがいがあのだと思っております。生徒全員、一丸となり今世紀最後の会工祭を必ず成功させたいと思っております。

顧問◎馬場勇作 富岡卓志
☆佐藤栄和
規律委員会
顧問◎渡部亮 富岡卓志
☆星雅人
選挙管理委員会
顧問◎海老沢康広 湯田二三子
☆山中保之
図書委員会
顧問◎三原敏男 平田淳二
☆小峰譲二
新聞委員会
顧問◎酒井克彦 佐藤良子
☆中村耕治
視聴覚委員会
顧問◎梅宮昭雄 額田憲一
☆馬場慎也
保健委員会
顧問◎馬場勇作 赤城礼子
☆長嶺岬
購買委員会
顧問◎青井勝 浅和勝利
☆須藤拓也

吹奏楽委員会

顧問◎片平喜美代
部長 佐野 正司
吉川 久雄
茂木 英輝
朝から放課後遅くまで、楽器の音を響かせている吹奏楽部は現在33名で活動しています。これまでに地区及び県の発表会、野球応援、青年の家での合宿練習、コンクール支



部大会及び県大会、全国育樹祭等例年以上の行事に参加してきました。今思えばいろいろな経験ができて良かったと思います。



われま。暑さの中での厳しい練習の結果県大会では納得いく演奏ができたと思っております。さて本年度は吹奏楽定期演奏会開催20回目の記念すべき年となりました。吹奏楽部員、卒業生有志、客演による合同演奏を盛り込んで記念演奏会を開催することになっております。ご支援をよろしく願います。

中央委員会
顧問◎高久礼子 渡部亮
☆大竹智泰
アッセンブリ委員会

顧問◎黒沢 静子
戸井田睦美
主将 岡崎 幸樹

弓道部

我々弓道部は3年生4人、2年生10人、1年生7人で日々精進しています。最近の成績は全会津春季大会で優勝。そして地区インターハイを突破し本命の県インターハイに出場。しかし県の壁は厚く、くやし涙をのむなどあまりよい成績を残せていません。

このように様々な面のある弓道部ですが、これからは全国大会出場を目指し、さらなる個人のレベルアップをはかり、部全体として強くなれるように基礎を大切に正射必中を念頭において練習していきます。そして、これからの大会においては新人戦優勝をはじめ、地区インターハイ、全会津大会等、出場する大会すべてにそして全国大会にも会工弓道部の名を残していきたいと思っております。



夏休みの合宿や遠征などで基礎体力や精神力など重点をおき、部員一丸となり練習で悪い所は全員で話し合い効率いい練習法を加えています。その結果、練習試合などでは一試合一試合、一本一本を大事にして、次の大会につながる様なすばらしい結果を残しました。これが、大会につながり、県大会優勝できればいいと思っています。

今後、県大会優勝できる様に先生方を中心にOBの先輩方などの御指導を一つ一つ吸収し、技術的にも精神的にも上達し、一試合一本を大事に県で優勝したいと思っています。

空手部

顧問◎村田 光夫
高橋 弘光
主将 星 広大

現在、自分達会津工業高校空手部が抱える問題は、多数あります。その一つは、経験者の不足です。昨年(自分が1年の時)この部を引っ張って来てくれた先輩方が引退してから、ずっと、一コ上の先

輩が一人で部を引っ張って来てくれました。しかし、その先輩も引退し、現在は、高校から空手を始めた自分達だけで引っ張っていったことでした。初めての頃は、どんな練習をしたらいいのかと悩んだり、1年に基本を教えれば、それが本当に正しいのかもわからないでとまどった時もありました。そのせいで、練習に身が入らず、集中できない日が続きまして。そんな時、自分は伝統ある会津工業高校空手部員だと自分に言いまさせてこまどやってきました。

我々弓道部は3年生4人、2年生10人、1年生7人で日々精進しています。最近の成績は全会津春季大会で優勝。そして地区インターハイを突破し本命の県インターハイに出場。しかし県の壁は厚く、くやし涙をのむなどあまりよい成績を残せていません。

夏休みの合宿や遠征などで基礎体力や精神力など重点をおき、部員一丸となり練習で悪い所は全員で話し合い効率いい練習法を加えています。その結果、練習試合などでは一試合一試合、一本一本を大事にして、次の大会につながる様なすばらしい結果を残しました。これが、大会につながり、県大会優勝できればいいと思っています。

今後、県大会優勝できる様に先生方を中心にOBの先輩方などの御指導を一つ一つ吸収し、技術的にも精神的にも上達し、一試合一本を大事に県で優勝したいと思っています。

剣道部

顧問◎馬場 勇作
渡部 泰明
主将 斎藤 勇樹

僕達剣道部は、2年生7人、1年生5人、OBの3年生6人、馬場勇作先生、渡部泰明先生、OBの先輩方を中心に毎日、工夫しながら厳しい練習に取り組んでいます。しかし、3年生が引退して新チームになると、体力的に不足していることが分かり、



そこで毎日、一本の矢ごとに自分の射を見つめ直し、仲間同士で声を掛け合い、先生にアドバイスを受けながら練習しています。また、今年の夏休みには他校との練習を交え、お互いの射を見るこ

サッカー部

顧問◎緑川 誠
岩田 善一
十二所宗紀
主将 長嶺 信一

サッカー部は、県大会で上位の成績を残せるよう、毎日暗くなるまで練習に励んでいます。

最近の成績は、全国高校サッカー選手権県予選で、7月23日に行われました。対戦相手は、清陵情報高校で3対1で勝利をおさめました。2次大会では、ベスト16をかけて双葉高校と対戦します。そこで勝ち、6月で対戦した白河高校に勝ち、11月の準々決勝まで残りたいです。



山岳部

顧問◎五十嵐 進
中野 善司
小荒井幾雄
部長 小林 昌之

今年の山岳部は3年生6人、2年生1人、1年生1人というスタートだった。3年生が多くて心強い限りであったが、3年生引退後は、地区新人大会から2人あるいは1人での参加になってしまふことになる。部の存続が心配になるほどの現状である。年度途中の部員加入にも期待し、更には来年の新生に望みをつなぎたい。

さて、今年の活動だが、例年の如く、4月新人歓迎ということで猫石・雄国山(泊2

日) 5月地区大会で会津駒ヶ岳(泊3日) 6月県大会で安達太良山縦走(泊4日) 7月地区強化登山として博士山、と山行を重ねてきた。

県大会は優秀パーティを目指したが細かなところで力及ばず、今年も評価を得られなかった。力不足のところを反省して改善していかねければと思っている。

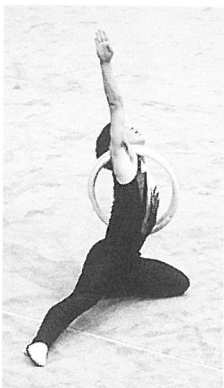
夏山合宿は今年は県外、北アルプスへの山行を計画。8月9日から泊5日の日程で蝶ヶ岳・常念岳・大井岳・燕岳といういわゆる表銀座コースを縦走した。かなりの長丁場もあり、苦しかったが、特に一年生の上野が頑張り通して立派であった。いい思い出にもなり、自信にもつながっていく。山行であつたが、9月初めには地区新人大会があり尾瀬沼・燧ヶ岳へ、新パーティで参加。2年生1人、1年生1人の2人パーティであつた。

今後は10月初めに県新人大会(吾妻連峰)、秋山合宿を予定している。

自転車競技部

顧問◎菅家 慶広
笠井 英雄
主将 佐藤 貴仁

今年度は何と3年ぶりに新入部員を二名迎えました。も



上回るように日々練習を重ねています。

今年も昨年に続き数多くの大会に出場し、全国大会にも出場しました。

全国大会では、団体、個人ともに、昨年の成績を上回りました。また、東北総体ではおしくも国体には出場できなかったものの、団体の方では3位、個人の方では、目黒真一(2A)が、なわで2位に入賞しました。

来年度は、今年度の大会の成績を、一人ひとりが多く、超えられるよう一生懸命努力していききたいと思っています。

県大会：団体1位、個人総合1位鈴木(3F)、3位佐原(1J)。東北高校大会：団体3位、個人総合6位佐原(1J)。全国高校大会：団体19位、個人総合14位鈴木(3F)。東北総合体育大会：団体総合4位。

卓球部

顧問◎鳴瀬 良
渡部 鉄仁
梨子本 傑
主将 平野 翔

現在卓球部では、今年の全会津総合体育大会では、団体がギリギリで県大会出場を果たし、個人戦では、3人が県大会出場を果たし、まずまずの成績を納めることが出来

ちるん2人とも1年生で、全くの未経験者です。先輩はいません。練習の内容や自転車のメカなど覚えるのが大変な毎日です。

1学期は高校総体(いわき市、平競輪場)、県総体(泉崎サイクルスタジアム)に出場して、初めてトラックを走りまして。夏休みは例年になく暑かったのですが毎日50〜60kmは走り、頑張りました。現在も11月の新人大会に向けて毎日練習に励んでいます。

やはり悩みは部員が少ないことです。最低3人いないと団体種目に出れないのでさみしいです。

なお、本校自転車競技部のコーチをして下さっているのは本校同窓生の笠原兼清さんです。厳しくも優しい御指導で素晴らしい選手をたくさん育てています。例えば最近では、先日の東北総体ロードレース(成年)で2位になった舟達俊彦先輩(M科OB)などです。

同窓生の皆様にはこれから本校自転車競技部のPRとして御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

柔道部

顧問◎白岩 格
渡部 哲
主将 舟木 孝幸

僕たち柔道部は、顧問の白岩先生、渡部哲先生のご指導のもと2年生11人、1年生



6人の計17人で日々練習にはげんでいます。全会津秋季大会では、第2位、第3位と惜しくも優勝は逃がしたものの昨年よりも良い成績を残すことができました。

水泳部

顧問◎佐藤 良子
額田 憲一
主将 六澤 宏明

僕は、新人戦に向けて、毎日、熱の込められた練習をしています。強いチームワークを持って、一戦一戦勝ちぬぎ「部」の目標である、「県制覇」が達成できるように努力していきたいと思っています。

昨年の新人戦での活躍に引き続き、今年度は新たに1年生部員4名とマネージャー1名を加えた総勢12名が各大会で成果をあげています。

インターハイの予選会では、まず部員全員が地区大会をへて県大会に出場しました。そして、その県大会においても

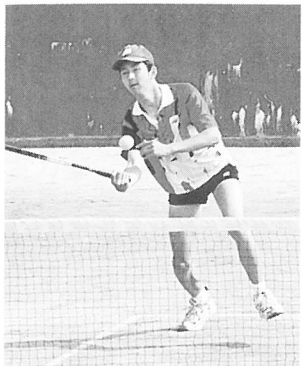
が、今年は、1年生が多数入部した事により、10数名にも増え、日々の練習に励んでいます。

インターハイ地区予選、総体地区予選では、3年の先輩方の活躍により、インターハイ地区予選、総体地区予選、優勝

団体戦、優勝
シングルス、優勝
ダブルス、優勝
総体終了後、3年の先輩方4名が引退し、今は、2年の2人が中心となり、夏の暑い中、猛練習に励み、1年生もかなり上達し、他の学校の2年生とも、十分戦える程の実力をつけた者もいましたが、新人戦における、我が校の結果は、

新人大会地区予選
団体戦、2位
個人戦、2位
シングルス、3位
ダブルス、2位

という結果でした。やはり団体戦の大きな敗因としては、1年生の経験不足という所もありました。しかしこれからは、この大



バスケットボール部

顧問◎三原 敏男
加藤 芳宏
菊地 寿雄
主将 星 翔太

僕達バスケットボール部は三原、菊地、加藤の3人の先生の指導のもと、日々、練習に励んでいます。

今年のチームは去年から試合経験を積んでいる選手が多く、チーム内での対立なども少ないため、練習に集中して取り組むことができ、良いチームになりつつあります。

僕達の目標は、特に、



声を出すこと、にしました。恐らく、団体競技、とりわけ球技では当然のことだと思いが、あえて目標としました。声を出し、コミュニケーションをとり、心を一つにして試合にのぞむことがとりわけ大事だと考えたからです。

そのことと係わって今、大事にしていることは、練習に遅れない、休まない、です。そして練習の始まりと終わりのミーティングです。どれをとっても格別「すごい」と言われるようなことはありません。

「当り前のことを当り前にできるチーム」これが僕達の目指す最高のチームです。

当り前のことが当り前にできるようになったとき、僕達は先輩方の期待にこたえ、僕達自身の、そして、チームとしての最終目標(勿論、県大会優勝・全国大会出場)に到達できると思っています。

応援、よろしく願います。

バドミントン部

顧問◎鈴木 亜希
佐竹 勝行
部長 清水 竜一

今年度のインターハイ県大

6名、マネージャー1名の計16名で活動しています。福島県スキー連盟強化指定選手に選ばれている部員もいます。スキー部の活動は冬だけと思っている人も大勢いると思いますが、それは違っています。

5月から11月までのオフシーズンの練習が一番大切なのです。大きく前半と後半とに練習を分けて5月から7月くらいまで、主に基礎体力を向上させるトレーニングをします。

時間走やウエイト、自転車やローラースキー、球技など幅広い練習をしています。

夏休みは各セクションごとの強化合宿や毎年恒例のいわき合宿などを行いました。9月から11月までは各セクションごとの専門的な練習に入ります。練習も厳しくなり、この練習に耐えた者だけが、冬に喜びを手にする事が出来るのです。

今年こそは県総合優勝を目標に、また一人でも多くの部員が、東北大会、インターハイ、国体に出場し、上位入賞を目指して、頑張ります。

会津工業高校スキー部の応援、よろしく願います。

体操部

顧問◎加藤 義勝
板橋 敬
主将 鈴木 義之

僕たち体操部は、今年度は、ようやく部員がそろい、団体にも力が入り、昨年の成績を



会には、学校対抗戦のほか、個人戦もシングルス13名、ダブルス7組が出場を果たしました。しかし個人戦では、シングルスでベスト16、ダブルスでベスト8に入ったのを最高に、ほとんどの選手が1回戦・2回戦負けを喫してしまいました。地区大会では上位を独占した選手たちも、県大会という広い舞台で、自分自身の実力を痛感している結果となりました。学校対抗戦では、1・2・3年生が力を合わせ、福島工業や白河を破り決勝進出を果たしましたが、宿敵帝京安積との決勝戦では、やはり実力の差を見せつけられてしまいました。しかし県大会の結果は、選手たちにとって、自分のバドミントンに対する姿勢を見つめ直し、新たに奮起するよい機会

になったように思
います。
清水主将率いる
新チームとなった
現在は、夏休みに
重点的に鍛えた基
礎体力を維持しな
がら、さらなる技
術向上を目指して
日々練習に取り組
んでいます。O B
の方々の期待に少
しでも応えられる
よう、これからも
全力で頑張ってい
きたいと思います。



バレー ボール部

■顧問◎山寺 清司
谷田部俊幸
古畑 一男
■主将
舟木 健志

バレーボール部は、山寺先生、谷田部先生、古畑先生のご指導のもと、先輩達の達成することのできなかつた県大会優勝という大きな目標を達成させるため、毎日を大切に練習に取り組んでいます。

今年の県大会は、まさかの初戦敗退でした。練習で勝っていた相手に負けてしまいしました。その負けたくやしさはもうあじわいたくないと一生懸命練習しています。

そして、3年生がぬけた県総体では、ベスト4に入ることができました。しかし、その成績には、満足していません。僕達の目標は、県優勝、

そして、全国大会出場です。この目標をいつも持ち続けて練習していきたいと思っています。

その目標達成させるには、まだまだたくさん課題があります。個人の技術を高くすることが必要ですが、バレーというには、チームプレイです。僕達は、身長が大きいチームではないので、まずレシーブの強化だと思っています。どんなボールもぜったい自分のコートには落さない。レシーブではこのチームにも負けられないように練習していきたいと思っています。

そして、メンタル面。いつも強気のプレーをし、気持ちで負けないように練習から取り組んでいきたいと思っています。応援してくれる家族や、地域の方々のために頑張りたいと思っています。今年の新人県大会は会津で行われます。どうか、会津に初めての優勝旗を持って帰れるように頑張ります。

ボクシング部

■顧問◎富樫 実
鈴木 哲
■主将 原田健太郎
ボクシング部は、顧問の富樫実先生と鈴木哲先生のご指



導のもと、2年生8名1年生7名で毎日厳しい練習をしています。練習内容は、シャドウやマスポクシング、サンドバックを叩いたりしたあと、ウエイトトレーニングをして終わります。練習時間は2時間からかないので、短時間に集中して行ないます。練習する上で、問題点がひとつあります。それは、現在使用しているリングは福島県で一番古いため表面の布は部員の激しい動きでボロボロに切れガムテープで補修しながら使っている状態です。でもそのようなリングでも、今までの先輩たちが流した汗と涙が染み込んでいるかと思うと大切に使用して頂かないといけないと思っています。

対抗で優勝することです。そして県下で、"会津工業高校ボクシング部あり!"と言われるように頑張っていきたいと思っています。

野球部

■顧問◎栗城 一郎
大塚 久泰
■主将 渡部 巧
羽染 光紀

現在、我々野球部は、2年生16名1年生9名マネージャー12名で毎日練習しています。今年の夏の大会は、ノーシールドでシード校の湯本高校、安積高校に勝利し2年ぶりにベスト4に名乗りを上げ、向かえた準決勝、先制点を上げたものの逆転され、あと一歩というところで光南高校に敗れ涙をのみました。

レギュラーだった3名の2年生を残し3年生が抜けた新チームになって、レギュラーだった3名を中心として、守備の日、打撃の日とに分け、徹底して練習をし、監督の「自分に妥協するな」という言葉を胸に部員全員で意識してやってきました。そして迎えた会津地区大会。1、2回戦、準決勝、決勝と大差で勝ったものの納得できる試合はありませんでした。しかし試合の中で一球の大切さを学び、県大会では競った試合で気持ちを切らず、集中して戦い、勝ち抜くという気



陸上競技部

■顧問◎富岡 卓志
佐藤 貴裕
■主将 沼木 雄一

今年の陸上部は、女子選手二名を含めた、約60名の部員

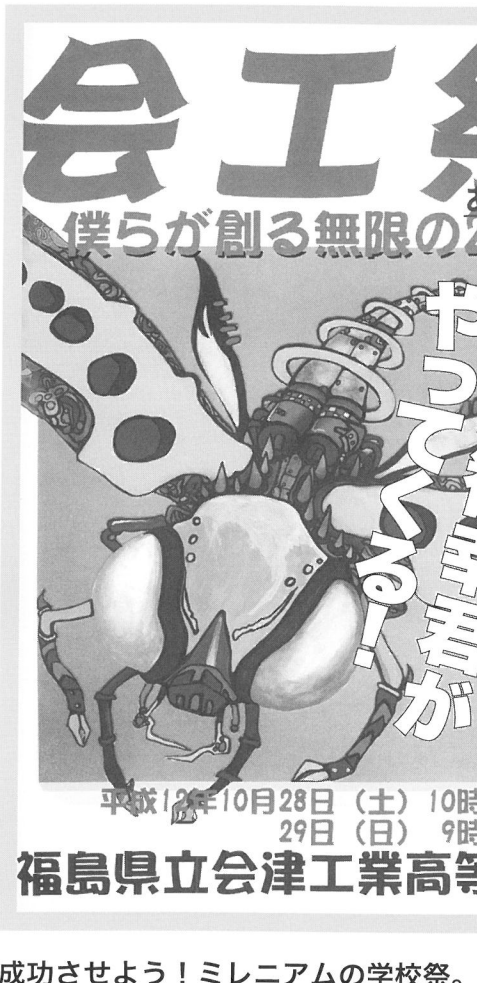
持ちでいっぱいでした。今このチームには、自信も技術もありません。しかし、目標を明らかにし、部員一人一人が妥協することなく、基礎体力、技術、団結力を身につけて部員27名一人も欠く事なく、夏「夢の甲子園」が現実のものとなる様、後悔だけはいない様、一日一日を大切に、練習に励んでいきたいと思っています。

英会話部

■顧問◎白川 克明
本田 毅
■部長 山田 徳幸

会津工業高校英会話部は、部員数こそ少ない部だが、その分活動内容は幅広く、いろんなデジタルエンターテイメントも上手に取り入れています。

部の活動内容として、実用英会話技能検定試験での資格取得があります。そこで英検の一月前くらいからプリン



成功させよう！ミレニアムの学校祭。

美術部

■顧問◎渡部 亮
穴澤 良行
■部長 佐藤 正道
上北由美子

会津盆地における海底火山の跡、と伝えられる山の周辺で海草の化石を見つけた、という情報も入ってきています。13名の部員一人一人の興味関心は、必ずしも同じ研究テーマに収約されるとは限りませんが、常にアンテナを高くして社会部の活動に役立ててゆこうと思っています。

JRC 同好会

■顧問◎松本 靖弘
高久 礼子
■会長 佐藤 功

といった具合で、美術部はみんな仲がよくてわきあいあいとすごしています。3年生は、卒業なので今年でおしまいです。1、2年生は来年も仲よく美術部でいてほしいです。まあ、1年生はたくさんいてにぎやかだし、2年生も少ないながら個性派のしつかり者なので安心です。こんな風に美術部は、まったく仲よく続いてほしいです。まったく美術部バンザイ!!

演劇部

■顧問◎渡部 祥雄
渡部 亮
■部長 小峯 譲二

しかし、英会話部の活動は勉強だけではありません。英検の時期以外は英会話部の名の通り、英語に親しむべく活動を続けています。その一つとしてDVDを使用した洋画の鑑賞があります。本場の英語を聞くには手間のかからない方法です。分からない英語も字幕があるので分かりやすく、作品自体も新しい物が多いため楽しみながら英語を学べます。その他にインターネットを使った外国のホームページへのアクセスなども予定していますので、英検を受けたくない人もぜひ入部して下さい。

99年の秋のコンクールにおいて「そして永遠に...」Our friends will last forever」という題のオリジナル脚本で、会津地区の再優秀賞を受賞し県大会まで進むことができました。劇もキャストのセリフも役柄も、みんな満足するまで作ることができたので、このような結果を残せ

社会部

■顧問◎山田 忠明
前田 宣裕
■部長 佐竹 純一

本校は創立百周年を目前に迎えようとしています。記念事業の一環として、『会工沿革誌』の出版がありますが、わが社会部も歴史調査のお手伝いをするべく準備にとりかかるところです。

新発見の資料としては、創

も最優秀賞を取り県大会まで行きたいです。次の地区大会を最後の発表にしたいから、春のミスは秋で生かしてがんばりたいです。

立当時の漆工科の先生の中に白虎隊の生き残りの方が居たという事です。白虎隊は父その家の当主の階級によって、士中・寄合・足輕に分けられ飯盛山で自刃したと伝えられる19名は、白虎士中二番隊の人達でした。本校に奉職されていた庄田保鉄先生も彼らと同じ隊で、強清水西方までは一緒に行動していたのですが、ワラジをはきかえていたのうちに仲間とはぐれてしまったといひます。その後についてもいろいろなエピソードがある様ですが、これからの研究課題とします。

また、別な研究テーマとしては、昨年卒業した先輩から引きついだ、「日本刀の鉄の組み合わせ方」がありますがこちらは遅々として進みません。しかし一方では、大昔の

美術部は、あまり活動してないように思われますが、誰がなんと言おうと美術部は活動しています!!しかも、まったく活動していません。今年は、春休みから新入生歓迎会用のトトロに始まり、会津地区の美術展に参加したり、福島県的美術展や部展にむけて日々、まったりしながらがんばっています。

会津地区の美術展では、入部してまもない一年生もたくさん作品をつくってくれたので、部員みんなで美術展に参加できたのがよかったです。それに今年は会工祭もあるので、美術部としてなにかしようにか、たくさんでるので楽しみます。

夏休みには、福島県的美術展の開催地のいわきに、下見もかねて美術館に楽しくいつてきました。

私たちがJRC同好会は25名で活動しています。一年を通して、使用済みテレホンカードの回収、古切手、書き損じはがきの回収、年に2回校内献血と神明通りなどの街頭献血の呼びかけをしています。

募金活動では、緑の羽根共同募金や赤い羽根共同募金の2つを主に行っていました。今年は有珠山噴火災害募金や県立石川高校の三本松幸子さんを助ける募金なども行いました。

その他の活動としては、会津地区の高校9校と交流をはかりながらの夏合宿をしたり、リーダーとしてのトレーニングを受ける山梨県でのスタディセンターや、国際理解、親善を深めるために、マレー



転出者

郡司 正孝	校長	退職
関根 啓次	教頭	埼玉高校長へ
渡辺 清見	教諭	福工高教頭(定)へ
東瀬 紘一	教諭	退職
星 陽子	教諭	退職
高原 啓二	教諭	会津農林高へ
吾妻 健則	教諭	福島工業高へ
志田 馨	教諭	福島明成高へ
田村 順子	教諭	埼玉工業高へ
北林誠一郎	実助	福島工業高へ
井上 博行	実助	平工業高へ
田村 浩之	常講	退職
松本 文明	常講	退職
五十嵐淳子	常講	退職
小沼知久平	常講	退職
海和 寛	常講	埼玉高へ
稲田 盛夫	常講	退職
佐々木和人	常講	退職
山本 清三	月講	退職
加藤久仁子	時講	退職
室井 勝巳	時講	退職
穴澤 光	校医	退職 12年度継続
大村 公士	歯科医	退職 12年度継続
関 孝一	薬剤師	退職 12年度継続

(事務部)

横山 國子
穴戸 秀信

主任学校司書 退職

主事 会津社会教育事務所

転入者

根本 健作	校長	清陵情報高より
渡辺 秀雄	教頭	小高工業高より
佐藤 良子	教諭	新採用
岩松 俊	教諭	耶麻農薬高より
白岩 格	教諭	川口高より
本田 直子	教諭	会津二高より
佐竹 勝行	教諭	平工業高より
鈴木 哲	教諭	埼玉高より 兼務(会二高)
本田 文一	実講	清陵情報高より
山崎 尚一	常講	新採用
富岡 卓志	常講	新採用
戸田睦美	常講	新採用
板橋 敬	常講	新採用
稲田 盛夫	月講	新採用
本名 涼子	時講	新採用 兼務(会二高)
穴澤 光	校医	継続
大村 公士	歯科医	継続
関 孝一	薬剤師	継続

(事務部)

平田 淳二
本吉タキ子

司書 新採用

主査 会津養護学校

お世話になりました、みなさま。

よろしく願いします、みなさま。

'00職員人事

私たちは生活科学同好会の会員は、家庭科の先生方と一緒に、今の世の中の、女の人が料理をすればいい。そんな考えを変えるため、そして、料理というものは女の人だけに

顧問◎高久 礼子
星野 恭代
戸井田睦美
会長 佐藤 功

生活科学同好会

シアで行われた「Dウィキヤンプ」への日本代表としての参加、週に一度の保育園訪問や、老人保険施設の訪問などを行っています。
人として、まっすぐな道を歩めるように、会員一同、常日頃から頑張っています。

思考ゲーム同好会

顧問◎洪井 祥雄
会長 加羽沢一晃

我々思考ゲーム同好会のメンバーは、勝ち負けにこだわ

はなく、男の人もするべきだということ、身近な男女差別をなくすことを、さりげない目標にして、楽しく料理をしています。それと自分たちが就職または進学した時のために、自分で料理することを身につけています。しかし、なかなか参加する人が少なくなりつつあり、なやませられる点も数多くみうけられます。でも、そんな事にもめげずにこれからの活動を活発にしていきたいと思っています。

つたりする事ではなく、いかに相手と良く接して交友関係を深めるかだ。勝負は二の次なのである。
思考ゲーム同好会は去年設立され1年生は4名、2年生4名、3年生5名と少ない会員で構成されているが、皆粉骨砕身、不撓不屈の精神を持ちそして一意専心、意気軒高という心で取り組んでいる。本年度の活動内容としては月に一度行なわれるMTGカード大会で優勝することを前提に各、上の大会へ向けて日々粒々辛苦、努力している。月に一度の大会では先輩の好成績に恥めような成果を上げ必ず上位入賞をしている。今、MTGカードは世界規模になっておりカード人口は数十万人を超すといわれている。日本でもメジャーな遊びになって来て世界大会でも日本人が大いに活躍している。

自然科学部

顧問◎青井 勝
部長 高橋 利雄
遠藤 一志

我々には、まだそこまでの力は付いていないが世界でも活躍する人が我々会生から出るであろう。
来年度の課題は、より大きな大会へ出て上位を目指していくことです。この同好会には後に大きくなる事でしょう。それは、前に述べたように、カード人口が多くなっているからです。
そして、いずれ部になるだろうこの同好会に皆注目していただくさい。全てをたくせる後輩が成し遂げてくれる事でしょう。

アマチュア無線部

顧問 梅宮 昭雄
部長 兼子 純一

▼メダカの飼育
僕たち自然科学部の活動内容は主にメダカの飼育と金魚の飼育です。
特にメダカの飼育は去年からの計画で色々野生のメダカを探していましたがどこにもおらず、しかたなく店でメダカを買って飼育をしています。部の活動もそんなに急がしくなく、月に一度くらい部に来て水槽掃除をするだけです。メダカの好みはグッピーのえさで、1日2回あたえすぎて、18匹中に6匹死に12匹だけ生きています。

本校のアマチュア無線部は、部員は10数人いるものの、活動している人は4・5人というふうにあまり活気がない部ですが昨年、新しい機械が入り、そこそこの活気が出てきました。
主な活動は、アマチュア無線の運用ですが、免許を持っている人が、2・3人しかいなくて、その他の人は何もできないというぐあいになっています。
全員が免許を持っていないと、活気がいまいと一つの部ですが、昨年のアンテナを張る作業には、ほぼ全員が参加し、力を合わせ作業をしました。
今は、アンテナ、機器がそろい、HFの方だけ通信可能な状態になっているので、会津工業無線部のコールサインはJA7YCBです。
このコールサインを耳にした方は、ぜひ声をかけて下さい。
今後の活動としては、HFだけでなく、FMの144MHzや430MHzの方も交信できるようにしたいと思います。
今年のアマチュア無線部は、設備ばつぐんの活気ある部活へと変化をし、より多くの人の交信を通じ、無線運用の向上をはかり、一人一人が、アマチュア無線技士として、ホコリを持てるような部にしたいと思っています。